

「壺(巫女の祈り)から「醫(酒などの内服液)へ」そして「薬」の時代へ 僧医が医療の伝道者 戦国時代、刀傷の治療を専門とする外科医登場 仏教の普及とともに 医・薬が普及 医学が仏教から離れていく 平和で安定した社会が医療の普及を生む 高価な輸入薬草から日本で採れる薬草へ

医学学校 聖徳太子が建立した四天王寺に施薬院と療病院を設置 貧民の生活医療保護施設として光明皇后が「施薬院」を設置 大分県に日本初の西洋式病院開設 元暦の曲直瀬道三が京都に医学学校「啓道院」を設立 蘭学が幕府から紅毛医学が流入 オランダ語通訳者が主な西洋医学の伝道者 オランダ商館長の江戸参府で西洋への関心高まる

書籍 丹波康頼が医療処方箋や治療法など唐医学を集大成した日本最古の医学書「医心方」刊行 中国医方の百科事典「医方類聚」刊行 阿佐井野宗瑞が日本初の医書印刷物「医書大全」を編纂 蘭学始まる ハルマ(蘭)の蘭仏辞典を和訳6万4035語の初編和訳辞典「ハルマ和訳」刊行 蘭学事始「蘭学事始」刊行 蘭学が日本の近代化の基礎を作った

道具 竹田昌慶が多くの医書・銅人形を携えて帰国 サビエルが眼鏡を伝来 望遠鏡を徳川家康に献上 印刷術の発展が老眼鏡を普及させた 眼鏡の発明が老眼鏡を普及させた 和製顕微鏡・エレキテル 平賀源内がエレキテルを復元 小林規右衛門が国産最古の顕微鏡を制作

東洋 経験的医療を体系化 中国医療の断片的流入 対明貿易が活発化 多くの僧医が渡明 南蛮文化の伝来 情報の大衆化が始まる 解剖学の基礎の上に医学が築かれる 顕微鏡と望遠鏡の発明が中世を壊し 人体と宇宙の科学が始まる 感染症のグローバル化が始まる 西洋 ギリシャ・ローマの合理主義を医療へ 大航海時代始まる 1450年頃 顕微鏡を用いた微小世界が新しい医学を発展させた

日本 人類の誕生とともに病気が始まり、医療も始まる

海外

西洋医学を医療制度の中心に定める

館内企画展アーカイブ

# バーチャル展示室

THE VIRTUAL  
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



**トヨタ産業技術記念館**

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.